

学びの原点とは？ 学問の楽しさと成績向上・合格を 両立させることが弊社の使命

誉田進学塾グループ（株式会社ジャスマック） 千葉県千葉市

清水貫

代表取締役

誉田進学塾グループ
誉田進学塾
誉田進学塾 ism
誉田進学塾 sirius
誉田進学塾 premium
／東進衛星予備校
東進中学 NET

あらゆる事態を想定した BCP（事業継続計画）の見直しが必要

新型コロナウイルスは今年も入試シーズンを直撃しました。幸いに感染拡大の動きをかなり早い段階で察知し、的確に対処できました。様々な判断の材料、情報を提供してくださった全国学習塾協会を始め、全国の皆様に感謝を申し上げます。

このような状況下でどんな判断を下すのか、企業は世の中から常に問われます。問われているのは一企業としてだけでなく、教育業界の一員としてであることを念頭に置き行動するように心がけています。

オミクロン株の猛威で陽性者、濃厚接触者に加え検査結果待ちによる自宅待機や保育園休園などの要因で、出社困難となる職員が増えて危機的状況との話を聞き、BCP（有事の際に企業が損害を最小限に抑え、事業の継続や復旧を図るための事業計画）の見直しが必要だと感じました。

通塾できないことを想定したオンライン授業への備えがメインで、職員が出社できず、教室業務を回せなくなることへの意識

が薄かったように思います。危機管理においては個人の感覚による判断は禁物です。

楽観的に受け止める傾向があるためです。厳しい現実を直視して対処していきます。

変化への対応は大胆かつ素早く！ 不変のものへは諦めない強い信念が必要

このような制約条件下でいかに子どもたちの学力を伸ばすか、が試されています。AIやICTはあくまでもツールです。教務力とは何かという本質に向き合わないといけません。

例えば、2年目を迎えた大学入学共通テストは予想通り難化しました。受験生

と感じたのは、良い問題を目指そうという出題者の意志です。問題を通して何が問われているのか、求められている学力は何かに対し、その力をどう養うか、どう伸ばしていくかを塾は問われています。

単なる目先の対策ではなく、根源的な部分で取り組んでいかなければなりません。同時に教科に対する指導力のみならず、



生徒のやる気を引き出す心の指導力も大切です。

また共通テストが難化したことで受験校の進路指導も重要になりました。情報収集力や分析力、心の指導に関しても技術開発で乗り越えていく考えです。

今後進む業界の再編

塾業界は他業種に比べ、コロナ禍の影響が最も少なかった業界の一つです。しかしながら、先が見えない長期戦の様相を呈し、業界全体に強い変革の流れが現れているようです。それぞれの塾で大きく差がついた結果になるでしょう。結果を分かつのは強弱や大小ではなく、変化への適応力だと思えます。コロナ禍2年目となったこの1

今年の私たちのキーワードは「不易と流行」です。環境の変化に対応するため変えなければならぬことについては、大胆かつ素早く取り組むこと。学力の本質といった不変のものに対しては、決して諦めない強い信念が必要だと考えます。

昨年、私の高校時代の担任の先生が亡くなりました。享年90歳。数学を担当し、強い言葉やきつく叱ることが全くない、穏やかな話し方をされる先生で、のちに予備校でも教鞭を執られました。熱血教師、凄腕の先生というわけではなく、特別の印象深いエピソードがあったわけでもないはずですが、ずっと後になり、毎年お招きするクラス会で、みんなから慕われている姿を見て、これが先生のありがたさなのだと気づきました。

年の方がM&Aの動きが目立ち、個人塾や老舗の廃業も増えています。教育方針、経営方針の違いはあれど、共に業界の信頼を築き上げてきた同志。古くから付き合いのある塾長の皆さまの引退は寂しいものです。私たちは、先を託されたという想いで今後も進んでいく所存です。

弊社は今後も進化していくために、人材

つまり人を大切にする経営をベースにしてまいります。教育を志す人を積極的に採用し、その人たちが成長できる環境を提供する。これが経営者の責務です。新卒は純粋に教育を志し、弊社の理念に共感してくれる人たちです。次世代を担い、次代を切り拓く人材として積極的に採用し、育てていきます。

同時にキャリア採用枠も増やしています。コロナ禍で人の流れが変わり、多様な仲間が入社しました。せっかく教育の世界に飛び込んで来てくれたのです。今まで思うような成長の場に出会わなかった人も少なく

学問の楽しさと成績向上・合格を両立させることが弊社の使命

返すと、いわゆる解法の解説ではなく、考える力がつくように大変工夫されたもので、最後に「みんな数学が好きになっただけじゃない」と結ばれていました。

これが先生のありがたさなのだと気づきました。

引退されていぶん経った頃、ご自身でコツコツとまとめられた数十ページに及ぶ参考書の草稿をお預かりしました。クラス会幹事を引き受けていたからですが、仕事柄、意見を求められたのかもしれない。恐れ多く、のちにワープロ原稿をそのまま印刷し同級生に配布するに止めました。読み

ありませんが、そういう人たちが明るく教育に向き合い、成長できる場にしていきたくと考えています。民間教育は非常に素晴らしい仕事です。その素晴らしさ、やりがいを感じ、もともと長くこの業界で仕事をしてもらいたい。新たなことに挑戦することで自らを磨き成長してほしい。幸い、社員たちに恵まれて、みんなが高い志で前進を目指してくれています。その彼らが活躍する場を提供するべく、今年も新校舎を2校開校予定です。この時代、守るのがセオリーかもしれませんが、挑戦と進化を続けていきます。